MONITOUCH

2026.10

V-SFT Ver. 6.2.12.0 バージョンアップ情報

	V10	V9	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1
本体プログラム	Ver. 1.800	Ver. 3.700	Ver. 2.470	Ver. 2.390	Ver. 2.400 *2
OS	Ver. 1.90 *1	Ver. 5.10 *1			

*1 アップデートするには、ストレージが必要です。
*2 X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

接続

1　接続可能機種追加 ： 富士電機　FY10/FY20(MODBUS RTU)

対応機種： V10/V9/TS2060、X1
接続機種： 富士電機　FY10/FY20(MODBUS RTU)

2　接続可能機種追加 ： 富士電機　FRENIC-Mini(C3)(MODBUS RTU)

対応機種： V10/V9/TS2060、X1
接続機種： 富士電機　FRENIC-Mini(C3)(MODBUS RTU)

3　接続可能機種追加 ： 富士電機　ALPHA7S(MODBUS RTU)

対応機種： V10/V9/TS2060、X1
接続機種： 富士電機　ALPHA7S(MODBUS RTU)

4　接続可能機種追加 ： Haiwell　A Series Card-type(Ethernet TCP/IP)

対応機種： V10/V9/TS2060i、X1
接続機種： Haiwell　A Series Card-type(Ethernet TCP/IP)

5　仕様拡張 ： 三菱電機　iQ-Rシリーズ タグ(内蔵Ethernet) LREAL型　64bit対応

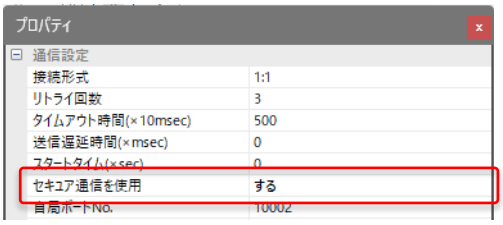
対応機種： V10/V9、X1
接続機種： 三菱電機　iQ-Rシリーズ タグ(内蔵Ethernet)

6　仕様拡張 ： キーエンス　局番テーブル対応

対応機種： V10/V9/TS2060i、X1
接続機種： キーエンス　KV-7000/8000(Ethernet TCP/IP)
　　キーエンス　KV-X500/X300(Ethernet TCP/IP)

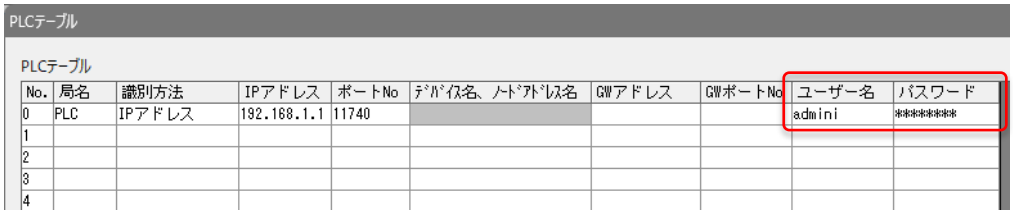
7　仕様拡張 ： Siemens　S7-1200/1500 Optimized Tag (Ethernet ISOTCP)　セキュア通信対応

対応機種： V10
接続機種： Siemens　S7-1200/1500 Optimized Tag (Ethernet ISOTCP)
設定箇所： PLCプロパティ→［通信設定］→［セキュア通信を使用：する］



8　仕様拡張 ： CODESYS　CODESYS V3(Ethernet)　ユーザーID・パスワード対応

対応機種： V10/V9、X1
接続機種： CODESYS　CODESYS V3(Ethernet)
設定箇所： PLCプロパティ→［接続先設定］→［PLCテーブル］の［ユーザー名］/［パスワード］



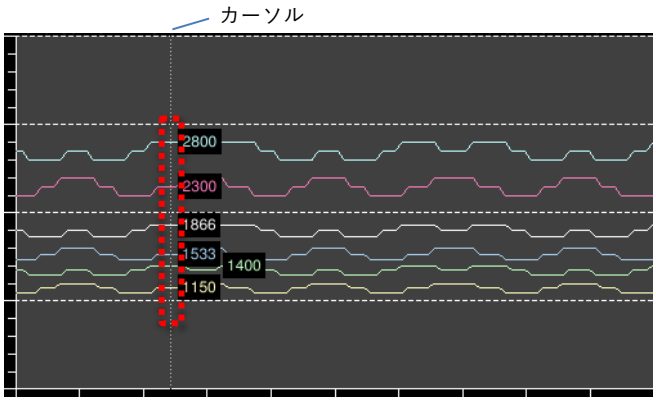
1　トレンドサンプリング　機能追加

対応機種： V10/V9、X1

■カーソル位置データの表示

【概要】
トレンドサンプリングで、カーソルの縦線と各グラフの交点に対応するデータ値を表示します。グラフ上の値を視覚的に確認できます。

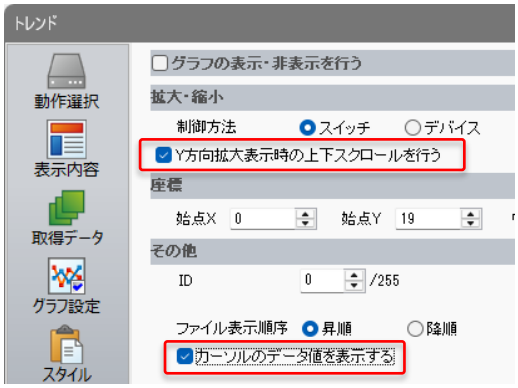
【設定箇所】
トレンドダイアログ→［細かい設定］→
［カーソルのデータ値を表示する］チェック



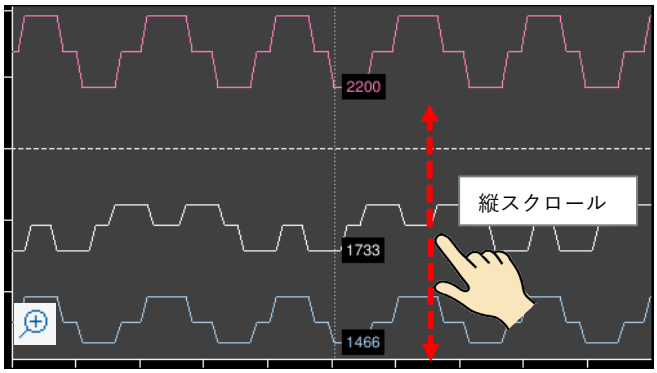
■拡大時上下スクロール対応

【概要】
グラフのY方向に拡大表示時に、上下スクロールで領域外も確認できます。 広範囲のデータを効率的に閲覧できます。

【設定箇所】
トレンドダイアログ→［細かい設定］→
［Y方向拡大表示時の上下スクロールを行う］チェック



Y方向拡大表示中



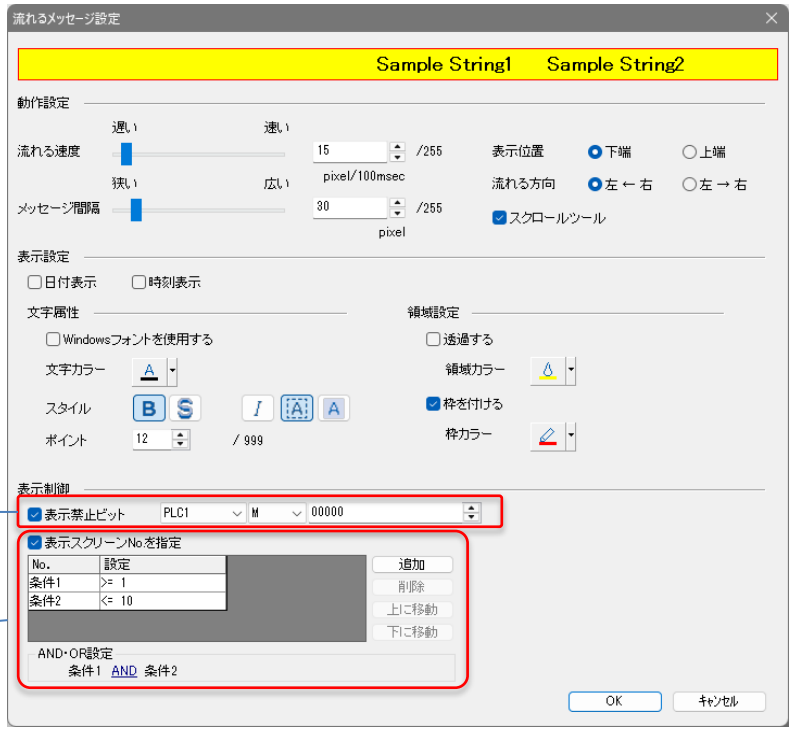
2　流れるメッセージ 機能追加

対応機種： V10/V9、X1

【概要】
流れるメッセージの表示可否を制御できます。
必要な画面でのみ表示できるため、画面の視認性向上と運用に合わせた表示が可能です。
以下、2通りの方法があります。
・表示禁止ビットによる一括非表示
・スクリーン指定

【設定箇所】
［システム設定］→［その他］→
［流れるメッセージ］

＊流れるメッセージはアラームサーバの設定が必要です。



表示禁止ビット
　OFF：表示
　ON：非表示

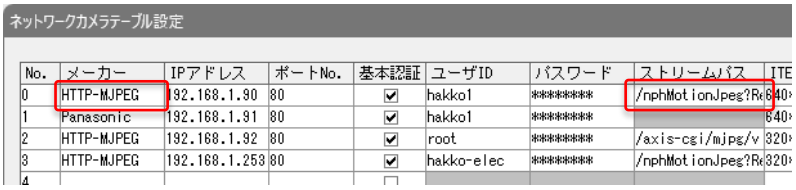
表示スクリーンNo.を指定（条件最大5まで）
　例：スクリーンNo. 1～10で表示

3　汎用HTTP-MJPEG/HTTPS-MJPEG ネットワークカメラ対応

対応機種： V10/V9

【概要】
HTTP-MJPEGおよびHTTPS-MJPEGプロトコルに対応したネットワークカメラを接続できます。
Basic/Digest認証の自動判別や自己署名証明書による接続にも対応し、IPアドレスやポート番号、ストリームパスなどのカメラ情報を設定するだけで、さまざまなネットワークカメラを接続できます。

【ネットワークカメラテーブル設定】
［システム設定］→［その他］→［ネットワークカメラ］
・HTTP-MJPEG　　V10/V9
・HTTPS-MJPEG　　V10
・ストリームパス



No.	メーカー	IPアドレス	ポートNo.	基本認証	ユーザID	パスワード	ストリームパス	ITE
0	HTTP-MJPEG	192.168.1.90	80	☑	hakko1	*********	/nphMotionJpeg?Re	640
1	Panasonic	192.168.1.91	80	☑	hakko1	*********		640
2	HTTP-MJPEG	192.168.1.92	80	☑	root	*********	/axis-cgi/mjpg/v	320
3	HTTP-MJPEG	192.168.1.253	80	☑	hakko-elec	*********	/nphMotionJpeg?Re	320
4				☐				

4　SDカード異常検出時のエラー表示対応

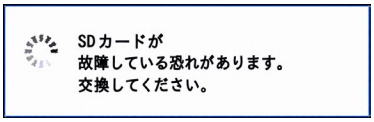
対応機種： V10/V9

★OSアップデート必要

【概要】
電源投入時、SDカードに異常がある場合にストレージへのアクセスを停止し、エラーを出力します。
異常を早期に把握できるため、予期せぬモニタッチ停止の未然防止や保守対応の迅速化に役立ちます。

【設定箇所】
［システム設定］→［本体設定］→［環境設定］→
［ストレージ異常を検出可能とする］チェック

【システムデバイス】
・$s1583　エラー表示（画面中央）
　1： 表示
　1以外： 非表示



・$s1584　SDカード異常 0ビット目
　0：正常
　1：異常

5　X1　工場出荷時状態でのUSBストレージ転送

対応機種： X1

【概要】
X1では、以下の条件でUSBストレージ転送に対応しました。
現場での初期セットアップ作業を効率化し、スムーズな画面データ転送を実現します。
　・初期出荷状態
　・画面データが消去された状態

【対応ドライブ】
Wドライブのみ

作画ソフト

1　動作改善

■拡大・縮小・パーツ選択操作

Ctrlキー＋マウスホイールの回転で、マウスポインタ位置を中心とした10%刻みのズーム操作に対応し、目的箇所をよりスムーズに拡大・縮小できます。
また、パーツ選択時のヒットエリアを2ドット拡大し、小さいパーツも選択しやすくなりました。

■オーバーラップ編集

オーバーラップライブラリの編集性を改善し、目的のパーツへ素早くアクセスできます。

［ファイル］→［プロパティ］→［編集］→［オーバーラップライブラリ編集のディフォルトをオーバーラップ編集にする］チェック
デフォルト：チェックなし

■貼り付け

マウスポインタがある位置への貼り付けに対応し、パーツ配置作業を効率化します。

［ファイル］→［プロパティ］→［編集］→［マウスポインタの位置にペーストする］チェック
デフォルト：チェックなし

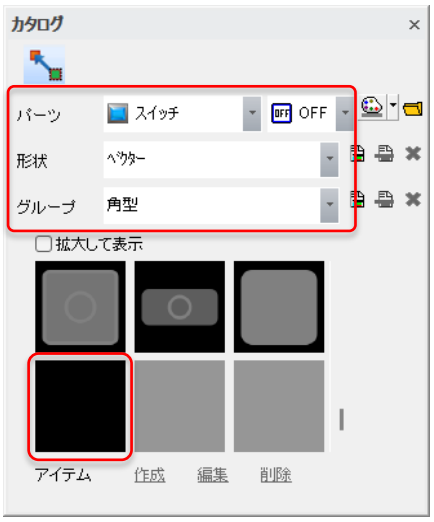
2　ベクター描画　対応パーツ追加

対応機種： X1

【概要】
以下に飾りなしの透過パーツを追加しました。

・スイッチ/ランプ
　形状：ベクター
　テーマ：角型

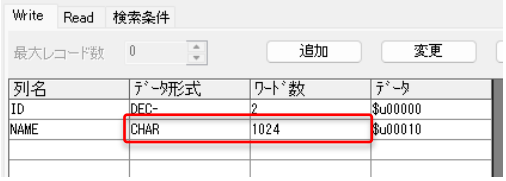
・数値表示/文字列表示
　形状：ベクター



3　MES設定　データ形式:CHAR　128ワード→1024ワード拡張

【概要】
MES設定の「データ形式：CHAR」選択時、最大ワード数を128→1024ワードへ拡張します。

【設定箇所】
［システム設定］→［その他］→［MES設定］



その他

1　HPプリンタの対応バージョンを更新

★OSアップデート必要

対応機種： V10

【概要】
HPプリンタの対応バージョンをhplip-3.22.10からhplip-3.25.8にアップします。

各HPプリンタのバージョンは、HP側のホームページを確認してください。